

【空手道部の活動】

放課後に格技室を訪れると 2 つのクラブが活発に練習に励んでいる姿を見ることが出来る。レスリング部と空手道部である。格技室というと、剣道部や柔道部が使用している学校が圧倒的に多いと思うが、本校ではそれらの部活はなく、上記の 2 つのクラブで格技室を使用している。ここではその 1 つである空手道部の活動について簡単に紹介していきたい。

空手道には「形」と「組手」がある。「形」とは相手を想定し、突き蹴り受けなどを 1 人で行う演武である。一方「組手」は実際に相手がいる中で、突きや蹴りなどの技を繰り出しポイントを争う。どちらも明確なルールがあり、そのルールの中で優劣を競い合う。2020 年東京オリンピックでは新種目として採用され、日本人選手の活躍が期待されている。

現在小諸高校空手道部（1～3 年生）には男子 5 名・女子 7 名の計 12 名が在籍している。内 10 名は高校から空手道を始めた生徒である。



今年のチームの特徴はとにかくチームワークが良い。人数は多くないが、お互いに刺激し合い切磋琢磨している姿が見られる。昨年 10 月に行われた長野県新人大会では女子団体組手でベスト 4 に入ることができ、目標であった北信越大会出場を果たすことが出来た。勝てた要因の 1 つに間違いなくチームワークの良さがある。また、高校から始めて、早い生徒では 2 年生秋頃には初段を取得することが出来る。

空手は決して危なくないし、殴り合うわけでもない。もちろん、突いたり蹴ったりする過程で相手と接触することは避けられないが、それはしっかりとしたルールに則った上でのことであり、ただ相手を倒したり、まして勝てばいいというものではない。

本校ではルールを尊重したスポーツとしての「空手」と、礼節を重んじ相手を尊重する武道としての「空手道」の両立を目指し日々活動している。



《空手道部年間スケジュール》

- | | | | |
|-----|------------------|-----|--------------------|
| 4月 | 昇級審査会、花見 | 11月 | 北信越新人大会、佐久大会、昇級審査会 |
| 5月 | 東信総合大会、県外遠征 | 12月 | アルプス大会 |
| 6月 | 長野県総体、北信越総体 | 1月 | 新年昼食会、県外遠征 |
| 8月 | 1年生大会、昇級審査会、夏季合宿 | 3月 | 信州錬成試合 |
| 10月 | 東信新人大会、長野県新人大会 | | |